

3月の野菜の見通し

平成31年2月28日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	12,250	並	12,625	116	82%	90	-	-	神奈川県産は前進傾向で切り上がりが早めになる見込み。千葉・茨城産は1月までの干ばつの影響で遅れが出ており、3月下旬には端境となる予想もある。見通し単価は95円で前年より安い。平年比では若干高い。
はくさい	7,959	並	7,601	135	37%	104	0	0.0%	茨城産、九州産、各地生育は順調。兵庫産は冷蔵物の出荷となり、前年より多い出回りを見込む。業務加工用は歩留まりが良いため過剰在庫となっており、引続き荷動きの鈍い状況が予想される。見通し単価は50円で、冬場の高値が続いた前年の半値以下、平年比でも大幅に安い。
キャベツ	17,665	並	17,593	139	61%	105	-	-	愛知産は前年秋の台風後に播き直した分が出るため例年より多い出荷量を見込むが下旬には減少か。総体でも3月は潤沢な出回りが予想され、これまで同様の単価安が続く見通し。見通し単価は85円で、関東産の不作が響いた前年より大幅に安く、平年比でも安い。
ほうれん そう	1,722	多い	1,509	389	95%	439	2	0.1%	関東産は生育順調で、潤沢だった前年並みの出回りを見込む。茨城産を中心に3月上旬まで増量が続くだろう。軟調相場が予想されるが、下旬には価格が下がったことで引合いが出始めるか。見通し単価は370円で前年より若干安く、平年比でもやや安い。
ねぎ	4,069		4,187	375	80%	319	22	0.5%	千葉県産は2月の降雪被害は特になし。ほか関東産を含め、太物傾向で下等級比率の多い出回りを見込む。数量は前年並みの予想。見通し単価は300円で、少なめだった前年の2割安、平年比でも若干安い。
きゅうり	6,760	多い	6,282	307	104%	329	-	-	3月上旬までは主体量少ないものの、中旬には北関東産を中心に増量となる見込み。数量は順調入荷した前年並みか若干減の予想。見通し単価は320円で前年より若干高いが平年並み。
トマト	6,936	多い	6,397	356	104%	429	-	-	各産地とも生育は順調だが、やや小玉傾向が見られる。3月頭までは熊本産中心に少ない出回りだが、以降は増量となる見通し。3月は量販店での春商材イベントもあり、荷動きも出てくるだろう。見通し単価は370円で多めだった前年より若干高く、平年比ではやや安い。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)